

ISSN 1340-7368

公益社団法人 日本雪氷学会北海道支部機関誌

北海道の雪氷

Annual Report on Snow and Ice Studies in Hokkaido

第 39 号



2020年9月

発行 公益社団法人 日本雪氷学会北海道支部

目 次

巻頭言	-----	1
2020 年度日本雪氷学会北海道支部研究発表会発表論文	-----	5
公益社団法人日本雪氷学会 北海道支部 2019 年度事業報告	-----	85
公益社団法人日本雪氷学会 北海道支部 2020 年度事業計画	-----	90
公益社団法人日本雪氷学会 北海道支部 2019 年度収支報告	-----	92
公益社団法人日本雪氷学会 北海道支部 2020 年度予算	-----	93
公益社団法人日本雪氷学会 北海道支部 2020 年度役員名簿	-----	94
公益社団法人日本雪氷学会 北海道支部 支部規程施行内規	-----	95

表 紙

画： 斎藤新一郎

題字：福沢卓也

(表紙解説) 北鎮岳の雪渓とエゾトウヒ林

一般社団法人北海道開発技術センター
斎藤新一郎

大雪山の第2の高峰・北鎮岳(2,244m)は、雪渓の素晴らしさ(白鳥の雪形)で知られている。この山の斜面には、雪解けに際し、厚い積雪がしばらく消え残り、露岩部やハイマツ叢生帯に囲まれて、大きな白い鳥の雪形が出現する。積雪深、気温の変化、日射量などから、年ごとに形がいくらか変わるが、鳥の雪渓が必ず出現する。場所が異なるが、大雪山には、小規模ながら、亜高山帯には、エゾトウヒ原生林が、散在して、今も残っている。その一部を前景に入れてみた。

